

1457

第 379 頁

二四師副庶第 六五號

14.2.11  
前  
官

14.2.14  
第  
號

14.2.13  
第  
6  
課

軍紀違犯者ノ件特別報告

昭和拾四年貳月八日

第百十四師團長末松茂治

陸軍大臣板垣征四郎殿

左記ノ者ニ對スル首題ノ件別紙ノ通報告ス

左記

後備役陸軍歩兵曹長





寫

岡村  
師團  
甲發第五六號

軍紀違犯事項特別報告

昭和拾四年壹月拾七日

歩兵第六十六聯隊長岡村勝實

第百十四師團長末松茂治殿

歩兵第  
六十六聯  
隊長之印

左記ノ者ニ對スル首題ノ件別紙ノ通り報告ス

左記

後備役陸軍歩兵曹長



陸

軍

軍紀違反事件ニ關スル件報告

一、發生月日時

昭和十四年一月十日午前五時頃ヨリ六時頃マテ

一、違反事項ノ概要

被告 XXXXXXXXXX ハ一月九日午後六時頃普利門附近

ヲ巡察シ之ヲ終リ歸還兵ノ背囊交換書類整理ノタメ

任意外出シ三輪部隊ニ入院中ノ患者ニ面會ヲ求メタ

ル處該患者ハ三輪部隊ニ非スシテ小松崎部隊ニ入院

シアルコトヲ知リタリ然ルニ當日ハ時間モ遅キタメ翌

日處理セント欲シ歸隊ノ途中其ノ附近ニ偶々懇意ニ

セル知人信和公司安藤某ノ許ニ立寄り獎メラル、儘ニ

近接ノ某夫妻ト共ニ飲酒シ杯ヲ重ネルコト貳升以上ニ

及ヒ四、五時間ヲ經過セリ午後十二時頃同家ヲ辭シ前

記夫妻ト共ニ日本閣ニ至リ約一分五合程飲酒シ同閣

陸軍

ニモ約ニ時間程ノ時間ヲ費シ更ニ同家ヲ辞シテ午前五時頃麟祥門ニ至ル其ノ間ノ行動ハ明確ナル記憶ナキモ一時放送局ニ立寄り飲酒シ歸途ニツキタルモノナリ

2. 被告ハ永綏門ニ向ヒ前進セントシタルモ酩酊ノタメ進路ヲ誤リ永綏門ニ到着スルヲ得ス普利門ト永綏門トノ中間ノ麟祥門ニ到着セリ

3. 偶々被告ハ酩酊ノ結果疲勞ヲ覺エタルヲ以テ休憩所ヲ求ムヘク附近ノ民家數軒ヲ呼ヒ起セシモ目的ヲ果サザリシカ其ノ中被害者ナル[ ]氏ハ我カ希望ヲ入レ開門シタルヲ以テ屋内ニ招シ導カル、儘ニ同女ノ寢室ニ入り冗談ヲ交ヘニ、三回無意識裡ニ殴打ノ記憶ハアルモ午前六時頃迄ノ行動ハ飲酒多量ノ結果朦朧トシテ答フルニ至ル迄ノ記憶ナキモノ、如ク再三ノ訊問ニ對シ同一言ヲ繰返スノミナリシモ關係書類並ニ證據品ニ

陸軍

ヨリ判断スルニ被告ハ目下確固タル記憶ナキ状況ナルヲ以テ之ヲ被害者ノ陳述ノミニ依リ判定シ得サルモ發作的ニ情慾ヲ起シ而モ飲酒酩酊ノ結果無意識裡ニ強姦ヲナシタルモノト認めラル

一、原因

被告ハ酩酊ノ結果通過スヘキ門ヲ誤リ且ツ又疲勞ヲ覺エタルヲ以テ休憩場ヲ求ムヘク附近ノ民家數軒ヲ呼び起セシモ目的ヲ果ササリシカ其ノ中被害者ナル[ ]氏ハ我カ希望ヲ入レ開門シタルヲ以テ屋内ニ招シ導カル儘ニ同女ノ寢室ニ入りタルモノナリ

二、動機

被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ關シテハ屢々上司ノ訓諭シタルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ其ノ罪狀確~~モ~~被告ノ狀況ヨリ察スルニ計画的

## 一、處置

犯行ニ非サルコト明瞭ニシテ且ツ多量飲酒ノ結果偶々其ノ機會ニ遭遇シ發作的ニ情慾ヲ起シ無意識ノ裡ニ本件ヲ犯スニ至リタルモノナリ

一月十二日午後二時頃憲兵隊ヨリノ電話通報ニ接シ同時ニ城内分遣隊長及下士官來隊事實ヲ聴取ノ上憲兵ト協力シ取調ノ結果容疑者ト認メラル、同曹長ヲ帶同シテ憲兵隊ニ至リ協力調査ノ結果被告ハ遂ニ午後四時三十分罪狀ヲ概ネ承認シタルヲ以テ歸途大隊本部ニ報告シ聯隊本部ニハ大隊本部ヲ通シ報告ス憲兵隊ノ依頼ニヨリ當隊ニ於テ憲兵ノ指導ノ下ニ調査ヲナシ一月十四日概ネ調査ヲ終リタルヲ以テ取敢ス師團副官ニハ一月十五日午後一時口頭ヲ以テ詳細ニ報告シタリ一件書類ハ一月十六日本部ヲ經テ津

村部隊ニ提出セリ

2. 本人ニ對シテハ取調ヘ完了ト共ニ一時憲兵隊ニ身柄ヲ依頼シタルモ留置場ノ關係上其ノ目的ヲ果サハリシタメ目下嚴重ナル監視下ニ時々精神訓話ヲ施シ監視中ナリ

一、其ノ他ノ必要ナル事項

1. 被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ就テハ屢々上司ノ訓諭セル所ナルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ誠ニ申譯ナク深ク前非ヲ悔ヒ戒慎ノ狀顯著ニシテ謹慎シテ後命ヲ待チツ、アリ

2. 中隊長ノ意見

被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ就テハ屢々上司ノ訓諭セル所ナルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ確ニ罪狀ハ憎ムヘキモ被告當時ノ狀況ヲ察ス

陸軍

ルニ確ニ計画的犯行ニ非サルコト明瞭ニシテ且ツ多量  
 飲酒ノ結果酩酊事ヲ辨セス偶々此ノ機會ニ遭遇シ發  
 作的ニ情慾ヲ起シ而モ無意識ノ裡ニ本件ヲ犯スニ  
 至リタルモノト認ム本人ハ本事件後深ク前非ヲ悔ヒ  
 戒慎ノ狀顯著ナルヲ以テ本人ノコレマテニ於ケル顯著  
 ナル功績ニ賞テ不起訴處分若クハ寛大ナル處置ヲ仰  
 キタシ

### 3. 本人ノ性格ノ概要

本人ハ多量ニ酒ヲ好ミ且ツ稍々性急ナルモ之迄ニ於  
 テハ何等過失ナキノミナラス戦闘ニ勤務ニ於テモ最優  
 秀ノ成績ヲ擧ケ今日迄積極的ニ任務ノ遂行ニ努力  
 シタルノミナラス本人ノ性格ト健康体トハ慥カニ不測  
 ノ活動力ヲ有スル下士官ナリ。



## 軍紀違犯事件ニ關スル件報告

一、發生日日時

昭和十四年一月十日午前五時頃ヨリ六時頃マテ

一、違犯事項ノ概要

被告高根澤仁吉ハ一月九日午後六時頃普利門附近  
 ヲ巡察シ之ヲ終リ歸還兵ノ背囊交換書類整理ノタメ  
 任意外出シ三輪部隊ニ入院中ノ患者ニ面會ヲ求メタ  
 ル處該患者ハ三輪部隊ニ非スシテ小松崎部隊ニ入院  
 シアルコトヲ知リタリ然ルニ當日ハ時間モ遅キタメ翌  
 日處理セント欲シ歸隊ノ途中其ノ附近ニ偶々懇意ニ  
 セル知人信和公司安藤某ノ許ニ立寄り獎メラル儘ニ  
 近接ノ某夫妻ト共ニ飲酒シ杯ヲ重ネルコト貳升以上ニ  
 及ヒ四、五時間ヲ經過セリ午後十二時頃同家ヲ辭シ前  
 記夫妻ト共ニ日本閣ニ至リ約一分五合程飲酒シ同閣

陸

軍

一モ約ニ時間程ノ時間ヲ費シ更ニ同家ヲ辞シテ午前五  
 時頃麟祥門ニ至ル其ノ間ノ行動ハ明確ナル記憶ナキ  
 モ一時放送局ニ立寄り飲酒シ歸途ニツキタルモノナリ  
 2. 被告ハ永綏門ニ向ヒ前進セントシタルモ酩酊ノタメ進  
 路ヲ誤リ永綏門ニ到着スルヲ得ス普利門ト永綏門ト  
 ノ中間ノ麟祥門ニ到着セリ  
 3. 偶々被告ハ酩酊ノ結果疲労ヲ覺エタルヲ以テ休憩所ヲ  
 求ムヘク附近ノ民家數軒ヲ呼ヒ起セシモ目的ヲ果ササリ  
 シカ其ノ中被害者ナル [REDACTED] 氏ハ我カ希望ヲ入レ開門シ  
 タルヲ以テ屋内ニ招シ導シカル、儘ニ同女ノ寢室ニ入り  
 冗談ヲ交ヘ三、三回無意識裡ニ殴打ノ記憶ハアルモ午  
 前六時頃迄ノ行動ハ飲酒多量ノ結果朦朧トシテ答  
 フルニ至ル迄ノ記憶ナキモノ、如ク再三ノ訊問ニ對シ  
 同一言ヲ繰返スノミナリシモ關係書類並ニ證據品ニ

陸軍

ヨリ判断スルニ被告ハ目下確固タル記憶ナキ状況ナル  
ヲ以テ之ヲ被害者ノ陳述ノミニ依リ判定シ得サルモ發  
作的ニ情慾ヲ起シ而モ飲酒酩酊ノ結果無意識裡ニ強  
姦ヲナシタルモノト認メラル

一、原因

ノ被告ハ酩酊ノ結果通過スヘキ門ヲ誤リ且ツ又疲勞ヲ覺  
エタルヲ以テ休憩場ヲ求ムヘク附近ノ民家敷軒ヲ呼ヒ  
起セシモ目的ヲ果ササリシカ其ノ中被害者ナル  
我カ希望ヲ入レ開門シタルヲ以テ屋内ニ招シ導カル  
儘ニ同女ノ寢室ニ入りタルモノナリ

一、動機

ノ被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ關シテハ屢々  
上司ノ訓諭シタルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ其  
ノ罪狀確ニ憎ムヘキモ被告ノ狀況ヨリ察スルニ計画的

犯行ニ非サルコト明瞭ニシテ且ツ多量飲酒ノ結果偶々其ノ機會ニ遭遇シ發作的ニ情慾ヲ起シ無意識ノ裡ニ本件ヲ犯スニ至リタルモノナリ

### 一、處置

一月十二日午後二時頃憲兵隊ヨリノ電話通報ニ接シ同時ニ城内分遣隊長及下士官來隊事實ヲ聴取ノ上憲兵ト協力シ取調ノ結果容疑者ト認めラル、同曹長ヲ帶同シテ憲兵隊ニ至リ協力調査ノ結果被告ハ遂ニ午後四時三十分罪狀ヲ概ネ承認シタルヲ以テ歸途大隊本部ニ報告シ聯隊本部ニハ大隊本部ヲ通シ報告ス憲兵隊ノ依頼ニヨリ當隊ニ於テ憲兵ノ指導ノ下ニ調査ヲナシ一月十四日概ネ調査ヲ終リタルヲ以テ取敢ス師團副官ニハ一月十五日午後一時口頭ヲ以テ詳細ニ報告シタリ一件書類ハ一月十六日本部ヲ經テ津

村部隊ニ提出セリ

2. 本人ニ對シテハ取調ハ完了ト共ニ一時憲兵隊ニ身柄ヲ依頼シタルモ留置場ノ關係上其ノ目的ヲ果サハリシタメ目下嚴重ナル監視下ニ時々精神訓話ヲ施シ監視中ナリ

一、其ノ他ノ必要ナル事項

1. 被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ就テハ屢々上司ノ訓諭セル所ナルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ誠ニ申譯ナク深ク前非ヲ悔ヒ戒慎ノ狀顯著ニシテ謹慎シテ後命ヲ待チツ、アリ

2. 中隊長ノ意見

被告ハ巡察服務中且ツ軍紀風紀ノ緊肅ニ就テハ屢々上司ノ訓諭セル所ナルニモ拘ラス本件ヲ犯スニ至リタルハ確ニ罪狀ハ憎ムハキモ被告當時ノ狀況ヲ察ス

ルニ確ニ計画的犯行ニ非サルコト明瞭ニシテ且ツ多量  
 飲酒ノ結果酩酊事ヲ辨セス偶々此ノ機會ニ遭遇シ發  
 作的ニ情慾ヲ起シ而モ無意識ノ裡ニ本件ヲ犯スニ  
 至リタルモノト認ム本人ハ本事件後深ク前非ヲ悔ヒ  
 戒慎ノ狀顯著ナルヲ以テ本人ノコレマテニ於ケル顯著  
 ナル功績ニ賞テ不起訴處分若クハ寛大ナル處置ヲ仰  
 キタシ

### 3. 本人ノ性格ノ概要

本人ハ多量ニ酒ヲ好ミ且ツ稍々性急ナルモ之迄ニ於  
 テハ何等過失ナキノミナラス戦闘ニ勤勞ニ於テモ最優  
 秀ノ成績ヲ擧ゲ今日迄積極的ニ任務ノ遂行ニ努力  
 シタルノミナラス本人ノ性格ト健康体トハ體カニ不測  
 ノ活動力ヲ有スル下士官ナリ。